

平成11年度 研究所だより

1. 口頭発表

- 1) DAP樹脂中の粒子飛跡に対する熱及び γ 線の影響
鶴田隆雄、山本和幸、奥田修一、池田稔治；第16回固体飛跡検出器研究会
(1999年8月31日、神戸)
- 2) Neutron Dosimetry Using Diallyl Phthalate Resin
Tsuruta, T. ; 10th International Symposium on Reactor Dosimetry (Sept.12-17,1999. Osaka)
- 3) 東海村の臨界事故から学ぶこと
鶴田隆雄；日本アイソトープ協会第10回近畿支部研究会特別講演
(2000年1月28日、大阪) 講演要旨集15-18.
- 4) 近畿大学原子炉 (UTR-KINKI) の現状と将来
鶴田隆雄；東京工業大学原子炉工学研究所「大学における放射線・原子力の教育・研究の現状と将来」
研究会招待講演 (2000年3月14日、東京)
- 5) 東海村の臨界事故から学ぶこと
鶴田隆雄；大阪府立大学先端科学研究所、放射線業務従事者のための再教育訓練特別講演
(2000年3月16日、大阪)
- 6) X線レーザーのための原子構造データの収集と評価
中井洋太、長浜茂利、近藤嘉秀；第36回理工学における同位元素研究発表会 (1999年7月、東京)
- 7) 茶葉およびヒジキに含まれたアルミニウムの14MeV中性子放射化分析および蛍光X線分析
近藤嘉秀、藤崎弘之、廣岡英浩、中井洋太；第36回理工学における同位元素研究発表会
(1999年7月、東京)
- 8) 放射線とアイソトープの安全取扱；古賀妙子 (社)日本アイソトープ協会
平成11年度放射線業務従事者のための教育訓練講習会 (1999.5.17 大阪)
- 9) サーベイメータと個人被ばく線量計の取扱いの実際；古賀妙子他 (社)日本アイソトープ協会
平成11年度放射線業務従事者のための教育訓練講習会 (1999.5.17 大阪)
- 10) 中国高自然放射線地域住民の空气中ラドンおよびトロンに係る内部被ばく線量評価；森嶋彌重
低線量放射線に対する適応応答に関する研究 (財)産業創造研究所 (1999.5.24 東京)
- 11) 花崗岩地域におけるラドン濃度分布；稲垣昌代、古賀妙子、森嶋彌重、田中由紀、藤嶋泰成、御船政明、
日本保健物理学会第34回研究発表会、B-8 (1999.5.27~28 大分)
- 12) ブラジル・ガラパリ周辺の空間線量当量率予備調査；藤波直人、古賀妙子、森嶋彌重
日本保健物理学会第34回研究発表会、C-5 (1999.5.27~28 大分)
- 13) 放射線に関するホームページの調査 (物理的事項)；森嶋彌重、藤波直人
(財)体質研究会 低線量放射線によるリスク検討会 (1999.8.23~24 敦賀)
- 14) 中国・高自然放射線地域におけるRn-222、Rn-220濃度の変動特性；古賀妙子、森嶋彌重、菅原努、
袁鏞齡、魏履新、日本放射線影響学会第42回大会 (1999.9.1~3 広島)
- 15) サーベイメータと個人被ばく線量の取扱いの実際；古賀妙子他
(社)日本アイソトープ協会 平成12年度放射線業務従事者のための教育訓練講習会 (1999.10 大阪)

平成11年度研究所だより

- 16) 三朝温泉など花崗岩地域におけるRn-222の濃度分布；森嶋彌重、古賀妙子、稲垣昌代 他
近畿大学院総合理工学研究科オープンフォーラム（1999.9.13 大阪）
- 17) 望まれる教育・訓練のあり方—大学共同利用施設；古賀妙子、第10回近畿支部研究会
（社）日本アイソトープ協会（2000.1 大阪）
- 18) 藤川和男 ダイオキシンの継世代催奇性
平成11年度日本環境変異原学会公開シンポジウム（平成11年5月、東京）
- 19) Fujikawa, K., S. Endo, T. Itoh and M. Hoshi
Biodosimetry of fast neutrons from a nuclear reactor
The 10th International Symposium on Reactor Dosimetry（平成11年9月、大阪）
- 20) Fujikawa, K. ; Thymus atrophy from vigorous apoptosis in p53 (+/+) mice but thymus hypertrophy
with no vigorous apoptosis in p53 (-/-) mice after irradiation
The 16th Radiation Biology Center International Symposium（平成11年12月、京都）
- 21) 藤川和男、伊東哲夫、張文藝、星正治、遠藤暁
タマネギ種子を用いる核分裂中性子の線量測定
日本原子力学会「2000年春の年会」（平成12年3月、松山）
- 22) 平井康宏、藤江正一、伊東哲夫、藤川和男
小腸細胞は放射線になぜ弱い？ 日本原子力学会「2000年春の年会」（平成12年3月、松山）
- 23) 藤江正一、平井康宏、伊東哲夫、藤川和男
マウス赤血球の小核形成に関する核分裂中性子の生物学的効果比
日本原子力学会「2000年春の年会」（平成12年3月、松山）

2. 論文発表

- 1) Characteristics of Diallyl Phthalate Resin as a Fission Track Detector
Tsuruta, T., Radiat. Measur., **31**,99-102（1999）
- 2) 3.Cancer Incidence in Misasa : A Spa Area in Japan with Elevated Radon Levels;
T. Sobue, W. Ye, V. S. Lee, H. Tonooka, M. Mifune, A. Suyama, T. Koga, H. Morishima, and S. Kondo,
Indoor Radon Exposure and Its Health consequences, Quest for the True Story of Environmental Radon
and Lung Cancer - p19~26, Kodansha Scientific LTD.（1999.8 Tokyo）
- 3) ブラジル・ガラパリ周辺の空間線量当量率予備調査；藤波直人、古賀妙子、森嶋彌重、
保健物理, **34**, 3, p253~p268（1999.9）
- 4) シンチセル・ラドンモニタによる空气中ラドン濃度の測定；古賀妙子、森嶋彌重、荒井直紀、白石雅敏、
茂原牧子、御船政明、近畿大学原子力研究所年報、**36**、p15~p23（1999）
- 5) Residential Radon Exposure and Lung Cancer Risk in Misasa, Japan : A Casecontrol Study ;
T. Sobue, Y.S.Lee, W. Ye, H. tanooka, M, Mifune, A, Suyama,
T. Koga, H. Morishima, S. Kondo, J. Radiation Research **41**, p81~p92（2000）
- 6) 藤川和男（1999）ダイオキシンの継世代催奇性、環境変異原研究、**21**, 273-280.
- 7) Fujikawa, K., S. Endo, H. Yonezawa, T. Itoh and M. Hoshi
Dose estimations of fast neutrons from a nuclear reactor by measurements of micronuclear yields
in onion seedlings, J. Rad. Res., **40** Suppl., 28-35.（1999）

- 8) Alcaide, E. A., A. Tanaka, H. Ikeda and K. Fujikawa
Development of a micronucleus assay in onion seedlings as a detector of chemical clastogens,
Environmental Mutagen Research, **22**, 9-14 (2000)
- 9) Multimodal analysis of prompt neutron spectrum for $^{237}\text{Np}(n,f)$
T. Ohsawa, T. Horiguchi and H. Hayashi, Nuclear Physics **A653**, 17(1999)
- 10) Multimodal analysis of prompt neutron spectrum for $^{238}\text{Pu}(sf)$, $^{240}\text{Pu}(sf)$, $^{242}\text{Pu}(sf)$ and $^{239}\text{Pu}(n_{th},f)$
T. Ohsawa, T. Horiguchi and M. Mitsuhashi, Nuclear Physics **A665**, 3(2000)
- 11) Possible Fluctuations in Delayed Neutron Yields in the Resonance region of U-235
T. Ohsawa and T. Oyama, Proc. Specialists' Meeting on Delayed Neutron Nuclear Data, pp.43-48(1999)
- 12) Evaluation of Fission Cross Sections and Covariances for U-233, U-235, U-238, Pu-239, Pu-240 and Pu-241
T. Kawano, T. Ohsawa et al. JAERI-Research 2000-004(2000)
- 13) Simultaneous Evaluation of Fission Cross Sections of Uranium and Plutonium Isotopes for JENDL-3.3
T. Kawano, T. Ohsawa et al. J. Nucl. Sci. Technol. **37**, 327(2000)

3. 著 書 ・ 報 告 書

- 1) 放射線概論 (共著) ; 鶴田隆雄, 通商産業研究社 (東京) (1999.4)
- 2) 初級放射線 (共著) ; 鶴田隆雄, 通商産業研究社 (東京) (1999.5)
- 3) DAP 飛跡検出器への γ 線照射効果
鶴田隆雄, 山本和幸, 奥田修一, 池田稔治; 大阪大学産業科学研究所附属放射線実験所
平成11年度共同研究報告書 128-129 (2000.3)
- 4) イメージングプレート
鶴田隆雄; 第6回中性子ラジオグラフィ国際会議 (1999.5.17-21) 報告書 10-11 (1999)
- 5) 第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例; 古賀妙子他 解答例作成委員 (分担執筆) p1~p30
(社)日本アイソトープ協会、放射線取扱主任者部会 (2000.1)
- 6) 放射線管理
古賀妙子, 稲垣昌代, 森嶋彌重, 荒木康丞, 瀧口千鶴子, 松林秀樹, 平路千裕;
近畿大学原子力研究所 年報, **36**, p25~50, (1999年)
- 7) 高自然放射線地域住民の疫学調査一線量測定および評価について—森嶋彌重, 古賀妙子
低線量放射線リスク評価に関する研究 平成10年度報告 (財)産業創造研究所 (1999.3 京都)
- 7) 花崗岩地域における自然放射性核種の挙動と分布に関する研究 (Ⅲ)
森嶋彌重, 古賀妙子; 核燃料サイクル開発機構委託研究成果報告書,
PNC PJ 2000-008, 1~ (2000年)
- 8) 平成11年度敦賀発電所周辺の自然放射線影響調査報告書; 森嶋彌重, 古賀妙子他, p95~107
(助)若狭湾エネルギー研究センター (平成12年3月)

管 理 室

1. 平成11年度原子炉施設およびトレーサー・加速器施設利用状況

a) 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設使用登録申請者数

1) 使用登録申請者数

i) 教 員	原子力研究所	12 名
	理工学部	7 名
	薬学部	9 名
	薬学総合研究所	1 名
	その他	1 名
ii) 職 員		4 名
iii) 学 生		36 名
iv) 学外派遣に伴う放射線管理対象者		4 名

2) 登録申請者内訳

i) 教職員

施設利用区分

原子炉施設	22 名
トレーサー・加速器施設	33 名

内容区分

原子炉	20 名
核燃料物質	13 名
非密封放射性同位元素	27 名
密封放射性同位元素	22 名
加速器	4 名

ii) 学 生

施設区分

原子炉施設	17 名
トレーサー・加速器施設	34 名

内容区分

原子炉	17 名
核燃料物質	10 名
非密封放射性同位元素	22 名
密封放射性同位元素	11 名
加速器	3 名

b) 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設学内共同利用登録申請一覧

1. 原子力研究所	森嶋 彌重	環境における放射性核種の挙動と分布に関する研究
-----------	-------	-------------------------

2.	原子力研究所	古賀 妙子	環境放射線量率測定に関する研究
3.	原子力研究所	鶴田 隆雄	固体飛跡検出器による中性子線量測定
4.	原子力研究所	伊藤 哲夫	放射線および化学変異原の生物影響に関する研究
5.	原子力研究所	橋本 憲吾	結合炉の動特性に関する研究
6.	原子力研究所	近藤 嘉秀	加速器および原子炉を用いた薬品、鉄鉱石試料等の放射化分析
7.	原子力研究所	柴田 俊一	中学・高校教員のための原子炉実験・研修
8.	原子力研究所	柴田 俊一	教員のための原子炉実験・研修（短期コース）
9.	理工学部原子炉工学科	丹羽 健夫	単結晶熱蛍光線量計の研究
10.	理工学部原子炉工学科	小川 喜弘	高感度中性子ラジオグラフィの実用化に関する研究
11.	理工学部化学科	岩森 正男	コレステロール硫酸基転移酵素の精製
12.	薬学部	松田 秀秋	天然資源の薬理作用及び作用機序解明に関する研究
13.	薬学部	市田 成志	神経細胞のCa ²⁺ 動態と各種受容体との関係
14.	薬学部	小田 泰雄	複合糖質の生物活性について
15.	薬学部	川畑 篤史	Protease-activated receptorsに関する研究
16.	薬学部	鍋倉 智裕	白内障の薬物療法に関する基礎的研究
17.	薬学部	西田 升三	各種抗癌剤によるアポトーシス誘導機序の解明
18.	薬学総合研究所	角谷 晃司	カンゾウ(甘草)のグリチルリチン生合成遺伝子に関する解析
18.	附属豊岡短期大学	南 武志	組織内メタロチオネインの定量
20.	理工学部原子炉工学科	姜 文圭	「エネルギー工学実験Ⅰ」, 中性子放射化分析
21.	理工学部原子炉工学科	姜 文圭	「エネルギー工学実験Ⅰ」, 放射平衡
22.	理工学部原子炉工学科	姜 文圭	「エネルギー工学実験Ⅰ」空間線量率測定用サーベイメータによる実験
23.	理工学部原子炉工学科	姜 文圭	「エネルギー工学実験Ⅱ」, 原子炉運転及び実験
24.	薬学部	掛樋 一晃	「放射化学実験」薬学部 4年次

c) 近畿大学原子炉等共同利用採択一覧

			年間利用 回数	共同 利用者 名数
1.	名古屋大学工学研究科	井口 哲夫	近畿大学原子炉の炉特性の測定と利用	2日 3名
2.	大阪府立大学先端科学研究所	辻井 幸雄	高感度中性子ラジオグラフィの実用化に関する研究(Ⅱ)	4日 6名
3.	摂南大学工学部	山田 澄	γ線による炉物理定数の推定(Ⅰ)	4日 2名
4.	神戸商船大学商船学部	北村 晃	原子炉の制御棒効果と中性子束分布の測定	2日 3名
5.	大阪大学工学研究科	竹田 敏一	近大炉・中性子束分布詳細測定	5日 3名
6.	九州大学工学研究科	的場 優	近畿大学原子炉の炉特性と原子炉 雑音解析のための新しい測定法の開発	3日 6名
7.	大阪大学工学研究科	吉田 茂生	原子力施設からの中性子・2次ガンマ線 スカイシャイン線量評価	8日 4名
8.	金沢大学低L放射能実験施設	小村 和久	原子炉建屋内外の環境中性子測定 Au-197(n,r)Au-198反応による	2日 3名

平成11年度研究所だより

9.	広島大学工学部	遠藤 暁	原子炉放射線の線量測定	9日	3名
10.	兵庫教育大学学校教育学部	山本 忠志	食品中のナトリウムと塩素の放射化分析	4日	2名
11.	鳴門教育大学学校教育学部	米澤 義彦	速中性子による植物の染色体突然変異の研究	5日	4名
12.	広島大学教育学部	池田 秀雄	植物の形態形成に対する放射線の影響	4日	4名
13.	関西学院大学理学部	木下 勉	神経細胞の分化制御遺伝子の発現に及ぼす放射線の影響	2日	3名
14.	広島大学理学部	谷口 研至	速中性子による植物培養細胞の突然変異研究	4日	4名
15.	広島大学原爆放射能医学研究所	濱田 勝友	放射線発癌機構の解析	6日	2名
16.	大阪大学工学研究科	吉田 茂生	低線量放射線の植物系に及ぼす生物学的刺激効果に関する基礎研究	4日	4名
17.	大阪信愛女学院短期大学	高井 明德	中性子線による魚類細胞における小核誘発に関する研究	4日	2名
18.	岡山大学薬学部	根岸 友恵	ショウジョウバエ体細胞の放射線誘発アポトーシスに関する研究	4日	2名

d) 原子炉施設等見学

平成11年	4月7日	コンクリート構造物耐久性向上技術コース研修員	9名
	4月9日	理工学部原子炉工学科2年生	1名
	4月10日	理工学部原子炉工学科新入生	105名
	5月12日	南京林業大学(中国)	7名
	6月21日	大阪府立泉尾工業高等学校	2名
	7月7日	近畿大学校友会	5名
	7月16日	藤井寺高等学校PTA	28名
	7月18日	エーオン(株)・青森放送(株)	6名
	7月24日	第1回キャンパス見学会	179名
	8月23日	大阪大学大学院	9名
	8月27日	第2回キャンパス見学会	77名
	8月30日	明治大学付属中野中学・高等学校理科教員	11名
	9月28日	兵庫県立伊丹北高等学校	25名
	10月5日	近畿大学附属豊岡高等学校2年生	73名
	10月6日	京都私立洛陽総合高等学校	41名
	10月7日	大阪府立今宮高等学校	31名
	10月20日	工学視学委員の視察	12名
	10月23日	第3回キャンパス見学会	61名
	11月2日	原子力展	168名
	11月3日	原子力展	411名
	11月22日	山本光学株式会社	2名
	11月25日	摂南大学工学部	3名
	11月25日	奈良市大宮小・中学校、奈良市教育委員会	17名
	11月25日	近畿大学新入職員	13名

平成 12 年 1 月 12 日	青森放送報道部	6 名
1 月 20 日	近畿大学附属高校 P T A	14 名
1 月 24 日	コミュニケーションアーツ(株)他	11 名
1 月 29 日	東大谷高等学校	1 名
2 月 10 日	京都府	2 名
2 月 29 日	科学技術庁、大阪府関係	10 名
	国内 28 件	延 1324 名
	国外 2 件	延 16 名
	合計	1340 名

e) 原子炉施設、レーザー・加速器施設立入者延数

(見学者および共同利用者は除く)

施設名	年 月												計
	11年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	12年 1	2	3	
原子炉施設	65	74	111	109	128	61	129	129	108	108	105	98	1225
レーザー・ 加速器施設	107	167	278	70	31	61	100	76	79	32	52	44	1097

f) 原子炉施設利用状況

i) 原子炉利用日数

共同利用	70日
学内利用	78日
	148日

ii) 共同利用状況

共同利用日数	70 日 (延 168 人・日)
原子炉運転時間	438.86 hr
原子炉熱出力量	319.90 W・hr

平成11年度研究所だより

iii) 月別原子炉利用状況

年月	利用目的	運転時間 (hr)	出力量 (W・hr)	利用 日数
11年	照射利用	11.99	10.24	2
	学生実験	4.78	1.68	3
	小計	16.77	11.92	5
4	学生実験	24.57	7.04	8
	原子炉実験・研修会	5.42	1.44	2
	小計	29.99	8.48	10
5	照射利用	34.18	31.35	4
	特性測定	30.63	8.28	7
	学生実験	28.79	7.01	10
	小計	93.60	46.64	21
6	照射利用	32.50	29.28	3
	特性測定	29.48	9.35	7
	学生実験	10.36	2.36	2
	原子炉実験・研修会	21.10	5.29	5
	定期自主検査	3.91	0.34	2
	小計	97.35	46.62	19
7	照射利用	9.60	7.46	2
	原子炉実験・研修会	46.39	10.41	12
	小計	55.99	17.87	14
8	照射利用	42.42	39.17	5
	学生実験	5.92	1.78	2
	自主検査	2.00	0.00	1
	小計	50.34	40.95	8
9	照射利用	13.90	11.31	3
	特性測定	31.43	9.58	9
	学生実験	12.22	3.70	4
	原子炉実験・研修会	6.00	2.09	2
小計	63.55	26.68	18	
11年	照射利用	8.73	7.25	2
	特性測定	68.03	26.92	8
	学生実験	17.41	4.86	5
	原子炉実験・研修会	12.78	2.71	3
	定期自主検査	4.33	0.32	1
小計	101.28	42.06	19	
11	照射利用	36.60	33.70	4
	特性測定	8.63	4.60	2
	学生実験	5.36	2.52	3
	小計	50.59	40.82	9
12	照射利用	39.27	35.28	5
	特性測定	43.06	36.12	7
	原子炉実験・研修会	7.27	1.75	2
	自主検査	0.83	0.17	(1)
	定期自主検査	5.14	0.13	2
	小計	95.57	73.45	16
12年	照射利用	6.00	5.10	1
	特性測定	22.60	14.92	3
	定期自主検査	1.07	0.37	1
小計	29.67	20.39	5	
1	自主検査	0.58	0.00	1
	定期自主検査	4.13	0.75	1
	定期検査	8.61	1.76	2
	小計	13.32	2.51	4
2	照射利用	235.19	210.14	31
	特性測定	223.86	109.77	43
	学生実験	109.41	30.95	37
	原子炉実験・研修会	98.96	23.69	26
	自主検査	3.41	0.17	2
3	定期自主検査	18.58	1.91	7
	定期検査	8.61	1.76	2
	合計	698.02	378.39	148
平成11年度合計				

iv) 年度別原子炉利用状況

年 度	運 転 時 間 (hr)	累 積 運 転 時 間 (hr)	熱 出 力 量 (W・hr)	累 積 熱 出 力 量 (W・hr)
昭和36年度	31.958		1.1399	
37	343.022	374.980	27.5698	28.7097
38	584.290	959.270	54.8169	83.5266
39	925.854	1,885.124	79.5894	163.1160
40	367.214	2,252.338	25.0842	188.2002
41	286.475	2,538.813	19.2483	207.4485
42	320.072	2,858.885	26.8775	234.3260
43	212.454	3,071.339	12.9753	247.3013
44	204.900	3,276.239	10.8992	258.2005
45	220.327	3,496.566	15.8532	274.0537
46	311.318	3,807.884	22.7564	296.8101
47	261.204	4,069.088	21.2060	318.0161
48	201.033	4,270.121	13.8441	331.8602
49	175.367	4,445.488	127.8662	459.7264
50	846.065	5,291.553	729.7608	1,189.4872
51	968.888	6,260.441	858.8117	2,048.2989
52	920.999	7,181.440	804.1293	2,852.4282
53	775.268	7,956.708	666.0099	3,518.4381
54	985.669	8,942.377	873.5845	4,392.0226
55	1,071.402	10,013.779	939.5145	5,331.5371
56	1,057.149	11,070.928	906.2674	6,237.8045
57	764.972	11,835.900	571.2100	6,809.0145
58	703.232	12,539.132	507.2877	7,316.3022
59	886.238	13,425.370	720.0647	8,036.3669
60	735.382	14,160.752	558.5795	8,594.9464
61	588.461	14,749.213	425.6043	9,020.5507
62	644.670	15,393.883	474.7400	9,495.2907
63	552.455	15,946.338	397.2621	9,892.5528
平成元年度	534.77	16,481.11	381.11	10,273.66
2	592.85	17,073.96	444.10	10,717.76
3	563.27	17,637.23	362.62	11,080.38
4	578.18	18,215.41	297.06	11,377.44
5	517.99	18,733.40	273.06	11,650.50
6	617.96	19,351.36	333.25	11,983.75
7	618.53	19,969.89	279.98	12,263.73
8	550.67	20,520.56	269.60	12,533.33
9	573.66	21,094.22	282.22	12,815.55
10	657.31	21,751.53	346.11	13,161.66
11	698.02	22,449.55	378.39	13,540.05

2. 平成11年度申請および報告一覧

平成11年 4月12日	許可使用に関する軽微な変更に係る変更届	近大原研第 1424号
26日	平成10年度放射性廃棄物等管理報告書	” 1425号
26日	平成10年度下期放射線管理等報告書	” 1426号
26日	平成10年度下期放射線業務従事者線量当量管理報告書	” 1427号
26日	平成10年度第4・四半期放射性廃棄物等管理報告書	” 1428号
26日	平成10年度下期放射線管理報告書	” 1429号
26日	平成10年度下期電離放射線健康診断結果報告書	” 1430号

平成11年度研究所だより

5月26日	核燃料物質受払計画等報告書 (JZ-H 0017)	〃	1431号
26日	核燃料物質受払計画等報告書 (JE-G 0022)	〃	1432号
6月25日	平成10年度放射線管理状況報告書 (使用者)	〃	1433号
29日	防災体制等の点検について (報告)	〃	1434号
7月29日	平成11年度第1・四半期放射性廃棄物等管理報告書	〃	1435号
9月7日	放射線施設の廃止に伴う措置の報告書	〃	1436号
7日	放射線障害予防規定変更届	〃	1437号
10月25日	平成11年度上期電離放射線健康診断結果報告書	〃	1438号
26日	平成11年度第2・四半期放射性廃棄物等管理報告書	〃	1439号
26日	平成11年度上期放射線業務従事者線量当量管理報告書	〃	1440号
26日	平成11年度上期放射線管理等報告書	〃	1441号
26日	平成11年度上期放射線管理報告書	〃	1442号
11月26日	核燃料物質受払計画等報告書 (JZ-H 0018)	〃	1443号
26日	核燃料物質受払計画等報告書 (JE-G 0023)	〃	1444号
12月15日	核燃料物質実在庫量明細報告書 (JE-G 0050)	〃	1445号
15日	核燃料物質収支報告書 (JE-G 0051)	〃	1446号
15日	核燃料物質実在庫量供給当事国別明細報告書 (I) (JE-G 0015)	〃	1447号
15日	核燃料物質実在庫量明細報告書 (JZ-H 0079)	〃	1448号
15日	核燃料物質収支報告書 (JZ-H 0080)	〃	1449号
15日	核燃料物質収支報告書 (JZ-H 0081)	〃	1450号
15日	核燃料物質実在庫量供給当事国別明細報告書 (I) (JZ-H 0014)	〃	1451号
平成12年1月14日	原子炉施設定期検査申請書	〃	1452号
24日	設備在庫報告書 (JEGA 0013)	〃	1453号
24日	運転計画	〃	1454号
28日	平成11年度第3・四半期放射性廃棄物等管理報告書	〃	1455号
28日	サイト内建物報告書	〃	1456号

3. 許認可

原子炉施設定期検査合格証

平成12年3月16日 12安(原規)第2号

4. 検査および査察等

平成11年11月24・25日 原子炉施設保安規定遵守状況調査

調査官：科学技術庁原子力安全局原子炉規制課(2名)

平成11年12月2日 国際原子力機関 (IAEA) 査察

査察官：国際原子力機関保障措置部(1名)

科学技術庁原子力局国際協力・保障措置課(1名)

核物質管理センター(1名)

平成 12 年 2 月 24 日 原子炉施設定期検査 (第 1 回目)
検査官：科学技術庁原子力安全局原子炉施設検査室 (2 名)

平成 12 年 3 月 8・9 日 原子炉施設定期検査 (第 2 回目)
検査官：科学技術庁原子力安全局原子炉施設検査室 (2 名)

5. 原子炉施設定期自主検査 (保安規定第 59 条)

平成 11 年 7 月 27 日・29 日 11 月 9 日・10 日
平成 12 年 1 月 11 日・12 日 2 月 17 日 3 月 3 日

6. 教育訓練等

平成 11 年 4 月 23 日 管理区域立入者に対する保安教育
原子炉施設利用者 (教職員および学生)

5 月 6 日 管理区域立入者に対する教育訓練
トレーサー・加速器施設利用者 (学生)

7 日 健康診断・血液検査

7 日 管理区域立入者に対する教育訓練
トレーサー・加速器施設利用者 (教職員および研修生)

平成 12 年 2 月 18 日 平成 11 年度防災訓練